

二〇二一年度

史学・地理学会大会報告

二月四日(土)第一学舎二号館B二〇二教室において、二〇二一年度関西大学史学・地理学会大会が開催されました。大学院生・学部生が日頃の研究成果を発表しました。また、B二〇一教室において、ポスター発表を行いました。二組の大学院生・学部生が日頃の研究を、ポスター形式で発表しました。発表終了後に総会が開かれ、会計報告・編集委員会報告・事業報告が承認されました。

【口頭発表】

- 液化化発生地地点の地形・地質・年代別特性
—— 段丘・盛土に着目して —— 高田 協平
- 祢軍墓誌銘と「日本」国号の成立史
—— 大野城市を事例に —— 別所 利一
- 初期『殉教者列伝』から見るジェーン・グレイのイメージ
—— 大野城市を事例に —— 何 雪瑩
- 【講演】アウトリーチ活動に挑戦してみよう
—— 大野城市を事例に —— 植村 月帆
- 一般書『仮』流通・消費から見えてくる『日本地理』の執筆
—— 大野城市を事例に —— 土屋 純
- フットパスの特性分析による類型化
—— 北海道黒松内町・東京都町田市を例として —— 蔡 伊寧
- 江戸幕府道中奉行の職掌に関する考察
—— ソフトウェア産業の発展に関する地理学的研究 —— 中谷真悠香
- 近世イタリアの色彩 —— 黄色の象徴性 —— 李 蕊君
- 日本におけるスキー場の開発史と持続可能性 —— 加藤 沙葵
- 黄色の象徴性 —— 閻 伊夢

【ポスター発表】

宮城県仙台市における自然環境と人間社会

- 浅野裕斗 新井ひな 石山翼 宇都宮陸
岡田ゆり 四木愛実 嶋田航大、高田凜太郎
谷口歩 田村莉菜 仲原太亮 西村莉乃
福田彩伽 藤井純、松川立樹 南出愉有
宮村多門 村上大成 村上千尋 村田秀人
米元佳那 米本千夏 佐藤綜一郎 俵幸恵
閻伊夢 高田協平 潘多 何雪瑩 蔡伊寧
李蕊君 ガルサンドルジ・ブルブドルジ
劉天星 徐雨辰 黒木貴一 土屋純
- 長野県伊那市老松場古墳群第四次調査の報告
山川聡大 池田旭 小木曾優佳 中川開太
稲熊陽香 尾崎伊織 篠原瑞稀 土守亮太郎